

# 街路樹の必要性

～三ヶ地区の住民への意識調査より～

指導教員：准教授 毛利 亘

担当学生：米澤 正悟、エンフバートル・ナルマンダフ、中島 光咲季、林 朋香

## I. 目的

私たちがこのテーマを選択した理由は、なんのために街路樹が植えられているのかと疑問を抱いたからだ。きっかけは小杉駅に向かう途中にある、歩道に植えられた木の枝が電線に引っかかっており危険ではないのかと思ったからだ。実際に住民の人に声をかけ、街路樹にはどのような効果があるのか、近くに住んでいる住民はどう思っているのかを知るために調査した。

## II. 方法

### ① インターネットによる検索

街路樹の効果について

### ② 街路樹の観察

### ③ 地域住民への聞き取り調査

質問1：街路樹について困っていること

質問2：街路樹があって良かったこと

質問3：街路樹の種類は知っているか

質問4：車の騒音は街路樹によって減っているか

質問5：落ち葉の片付けは誰が行っているか

質問6：街路樹の剪定はどうしているか

質問7：何のために植えられていると思うか

質問8：街路樹について気になることはあるか

## III. 結果

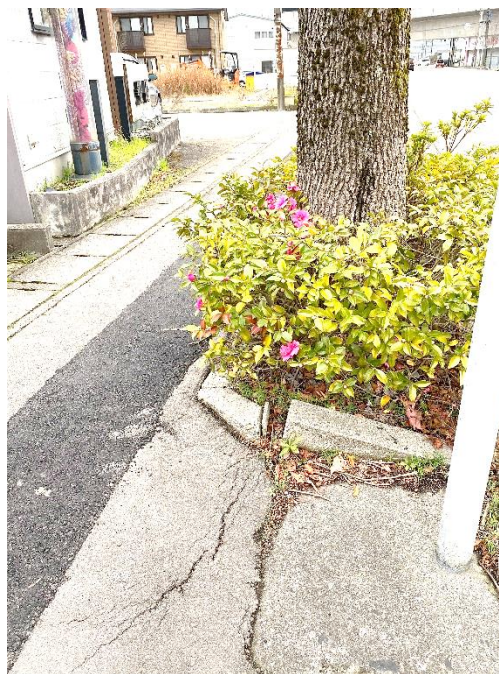
### ① インターネットによる検索

インターネットでの調査の結果、街路樹には二酸化炭素の削減や交差点での衝突事故の防止、車の騒音の削減、歩道の快適化、景観を良くする効果があることがわかった。

### ② 街路樹の観察

住民への調査の前に、自分たちで小杉本江線の本開発（中）から高寺までの街路樹を観察した。

次の写真のように、目的で述べた電線に枝が伸びてきて触れている場所や、街路樹の根がコンクリートを盛り上げている場所を見つけた。このように街路樹の手入れが必要な点やマイナス面、住民の困りごとは無いか気になり調査することとした。



### ③ 住民への聞き取り調査

訪問調査で、実際に住民と道路沿いにある会社などに勤務している方17人に調査した。街路樹について困っていることは、「ある」と答えた方が12人、「ない」と答えた方は5人だった。「ある」と答えた方は、落ち葉、自動車がぶつかる、側溝が詰まる、鳥の糞、根でコンクリートが持ち上がる、虫、信号や街灯が見にくい、土管が壊れる、などについての困りごとであった。特に落ち葉の被害が多いことが判明した。

街路樹があつて良かったことは、「ある」と答えた方が11人、「ない」と答えて方が6人だった。あると答えた人は、見た目がいい、季節感を感じることができる、人に感慨をもよおさせる、環境に良い、外観など見ることで感情的になれるというものが多かった。街路樹の種類を知っているかという質問には、「知っている」と答えた人は3人、「知らない」と答えた人が14人と、住民でも知らない人がほとんどだった。「知っている」と答えた方は、プラタナス、ポプラ、カエデと答えており、3人も違う種類の名を挙げた。このことから、住民の方は街路樹の種類は把握していないのではないかと思った。

車の騒音は「減っていない」と答えた方は全員だった。落ち葉の片付けも、15の方が住民で「している」と答えていた。そのうち2名は委託業者もしていると答えた。残り2人は「していない」と答えており、街路樹付近でも、場所によって落ち葉

の影響はないと思った。業者が定期的に剪定しに来ているかという質問では、「はい」と答えた人が14人、「いいえ」と答えた人は3人でした。「はい」と答えたうちの8人は1年に1回、1年に2回、1～2年に1回、2～3年に1回とほとんど違う意見になった。街路樹は何のために植えられていると思われているかでは16人に答えてもらった。景色がいい、眺めがいい、環境保全のため、環境美化のため、地球温暖化を防ぐため、日陰になる、排気ガスをなくすためという意見がもられた。その他で街路樹について気になることはあるかという質問では、20年以上前からあるため倒木の危険があるのではないかと、街路樹についている虫はアメリカシロヒトリの幼虫で害虫である、落ち葉が散らばっていて掃除するのが大変だ、常緑樹がよかった、信号にかぶると危ない、虫の出ない木にしてほしい、大きすぎる、土留めが傾いて中に穴が開く、落ち葉の掃除が高齢者の交流の機会になるのではないかと意見があった。

#### IV. 考察

結果で17人中12人が困っていることがあると回答していたと述べた。17人の内道路沿いで勤務している人は7人であり、困っていることがあると回答した人は4人であった。良かったことがあると回答した人は5人で、見た目が良い、季節を感じられるという意見が多く出た。

一方で、住民で困っていることがあると回答した人は8人、良かったことがあると回答した人は6人で、落ち葉の掃除が大変、根でコンクリートが持ち上がるなどの困っているという意見のほうが多かった。

この結果から、インターネットで調べた良い効果や印象を感じているのは、日中しか道路沿いにいない人たちで、実際にそこで暮らしている住民は良い効果や印象よりも困りごとを感じる人の方が多いのではないかと考えられる。

#### V. まとめ

住民の人たちにもよい印象や効果が感じられるようにするために、しっかりと管理して落ち葉の処理や害虫問題などを解決する必要がある。調査時に数名が行政に苦情を伝えてるが対応が不十分であると聞いた。そのため射水市の担当である都市整備部の道路課などの担当部署にも聞き取り調査をするべきだったかもしれない。

#### VI. 参考

新樹造園ホームページ <http://sinjyu.jp/?eid=21>